

観光

観光客誘致事業「エヴァンゲリオン箱根補完マップ」について

人気アニメ「エヴァンゲリオン」箱根補完マップについて、外国人観光客及び国内観光客の誘致に活かすべくと考えるが、今後の方針について伺う。

平成7年からテレビ放映された連続テレビアニメであり、物語の中心地が箱根町の仙石原地区周辺を舞台に設定されている「エヴァンゲリオン」は、平成18年には文化庁企画の「日本のメディア芸術100選」のアニメーション部門で第1位に選出され、ゲーム、パチンコなど様々な展開を広げており、若者を中心に幅広い層から支持を得ている。

平成19年には映画が公開され、この中には箱根登山鉄道や芦ノ湖畔の箱根神社を思わせるシーンがあり、人気アニメが箱根町を舞台に繰り広げられていることから、若い男女層の誘客に結びつけるため、箱根町観光協会が製作会社の許可を得て、当パンフレットを作成した。

登場する町内19か所の場面を地図上で紹介し、「エヴァンゲリオン」の世界を「現実」の世界で想像しながら楽しむことができるものであり、公共交通機関やマイカー利用で効率よく周れるコースも紹介している。

町観光協会では、当マップを町内観光施設で配布することを5月末にプレスリリースしたところ、新聞、インターネットで取り上げられ、問い合わせ等大きな反響があった。また、観光協会には、旅行会社からツアー・宿泊プランの申し出の話も入ってきている。

海外でも人気のあるアニメであるため、宣伝用ツールとして当マップを用いて誘客を図っていく。今月初のアニメ漫画タイアップ企画であるため、今後の動きを見守り、また、商品化については厳しい制約等があるため、関係者と話し合いをし、誘客につなげる方法を検討していく。

観光

新型インフルエンザ発生による入込み観光客数への影響について

次の2点について伺う。1 町内観光への影響について

今年5月に入って海外からの帰国者の感染が確認され、その後5月中頃になって、国内感染者が大阪府や兵庫県など関西方面で多く確認されたものである。

この影響を受けて旅行者の減少による近畿地方の宿泊施設減収額が約46億円に上り、修学旅行をキャンセルや延期とした学校が1600校近くとの報道もされた。

そこで、箱根町への影響であるが、主なホテル等に電話による聞き取り調査を行った結果、湯本の大手ホテル、旅館を中心にキャンセルが多いという回答を得た。また、修学旅行については、秋に日程変更をする学校はあるものの、現時点でのキャンセルはほとんどなく、観光施設についても、外国人ツアーのキャンセルは出ているものの、国内の団体客については、キャンセルはほとんどない状況ということであった。

したがって、新型インフルエンザの観光客への影響については、全体入込み客数は減少ぎみであるが、団体受け入れのホテル、旅館に影響が出ているものの、全体的には、影響は少ないと考えている。

しかし、今後も情報収集を綿密に行い、状況の把握に努めたい。

都市整備

湯本駅再開発と山崎インターチェンジの進捗状況について

次の2点について伺う。1 湯本駅再開発の最終的な完成時期について

2 山崎インターチェンジの進捗状況について

1 点目について、湯本駅ターミナル整備事業については、この3月14日から一部が供用開始され、県事業である小田原側の国道横断デッキも架かってきたが、資材高騰や品薄が原因で半年遅れの平成21年9月末の完成を目指している。

一方、宮ノ下側横断デッキについては、現在、地権者と用地買収交渉を続けており、駅舎接続デッキとあわせて、平成23年3月末の完成を予定している。

2 点目について、国の事業である小田原箱根道路の山崎インターチェンジは、高架橋が途中で止まっている状態になって久しいわけだが、高架橋の下りてくる国道1号との接続部は、4車線となるので、旧湯本中学校側については、国道に面した既存の石積み軌道敷き側にセツトバックさせる必要があるため、国ではこの部分の設計を鉄道事業者へ委託して、現在、設計中と聞いている。

また、反対の早川側については、現在、用地交渉中で、支障となる鉄道事業者の変更となる鉄道事業者の変更に伴って、調整中とのことである。なお、供用開始時期については、横浜国道事務所を確認したところ、用地交渉後、擁壁工事に約2年、道路工事に約2年かかるということであるが、町としても早期完成に向けて積極的に協力したい。



箱根湯本駅